

豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol.
95

議会だより

2024.11.1 発行

2P

第5回定例会 補正予算

3P

審議案件と議決結果

3P

主な質疑・討論

6P

一般質問

6名が町政について質問

14P

まちのようす

令和6年度 一般会計補正予算

(補正第2号)

第5回
定例会

補正額
(追加)

1億7,306万円

総額

36億907万円



閉会
令和6年9月2012日

開会
令和6年9月9日

増額の主なもの

●総務	一般管理費	いそどりの里整備基金積立金	7,000万円
	財産管理費	自治体システム標準化導入業務委託料	3,055万円
●衛生	保健衛生総務費	上診特別会計繰出金	1,040万円
	予防接種費	新型コロナワクチン定期接種手数料	641万円
●農林	農地費	八重地地区簡易給水施設 測量設計業務委託料	1,310万円
	林業振興費	捕獲鳥獣処理設備等購入費	3,980万円

令和6年度 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（補正第2号）

補正額
(減額)

△345万円

●主なもの

一般管理費 システム標準化（マイナ保険証）改修業務委託料

82万円

総額

2億2,631万円

令和6年度 国民健康保険（診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第1号）

補正額
(減額)

△118万円

●主なもの

医業費 臨床化学分析装置購入費

△52万円

総額

1億2,491万円

令和6年度 国民健康保険（福原診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第1号）

補正額
(追加)

263万円

●主なもの

医業費 電子カルテ購入費

264万円

総額

2,324万円

(第3日) 令和6年9月20日(金)

○：賛成

×：反対

－：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質疑	討論	結果	平原美和	関康昭	前田敏宏	酒井直美	高石雅弘	日下一茂	岡本明	田中寛
	監査報告	有		報告								
議案第54号	令和5年度上勝町一般会計歳入歳出決算の認定について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第55号	令和5年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第56号	令和5年度上勝町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第57号	令和5年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第58号	令和5年度上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第59号	令和5年度上勝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第60号	令和5年度上勝町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第61号	令和5年度上勝町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第62号	令和5年度上勝町高幹財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第63号	上勝町福祉手当支給条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第64号	上勝町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第65号	上勝町福川防災コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例の制定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第66号	令和6年度上勝町一般会計補正予算(補正第2号)について	無	有	修正案否決	○	×	×	○	○	×	×	－
		無	無	原案可決	×	○	○	×	×	○	○	－
議案第67号	令和6年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第2号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第68号	令和6年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第69号	令和6年度上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第70号	物品購入契約の締結について(林業用グラブバックハウ導入事業)	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第71号	徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
報告第72号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	無		報告								
議案第73号	上勝町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	有	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第3号	ごみ問題の抜本的解決策「資源回収法(仮称)」の制定を求める意見書について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
-	委員会の閉会中の継続調査について			承認	○	○	○	○	○	○	○	－
-	寄附の申し立てについて			報告								

主な質疑・討論

第5回上勝町議会定例会

決算認定

問 平原議員

実質収支比率について、令和元年から上がり、令和4年度から令和5年度にかけては倍程20・7%と伸び続け高い数値となっているが、どのように理解されているのか。

答 重田副町長

実質収支比率は実質収支を標準財政規模で割った割合で、標準的歳入等の規模に対し黒字の程度を示す。昨年度は繰越しが多く、そのため実質収支増に伴い実質収支比率も増えている。年間予算執行する上で十分精査しながら進めていく。

問 平原議員

適正な実質収支比率は3・5%が適正水準だが、本町の経常収支比率は89・4%と極めて高く財政の硬直化が顕著だ。健全な財政運営の面では、予算の

黒字化だけに傾注せず、行政サービスや社会福祉、社会保障、また住民が望む、住民のためになる政策に予算を費やし、比率を適切な数値にすることを求める。

修正動議

酒井直美

議案第66号令和6年度上勝町一般会計補正予算のうち、林業費の捕獲鳥獣処理設備に係る全ての予算を削除する。

提案理由

6月議会で、鳥獣被害対策の重要性は充分理解したうえで、今回の提案に対しては、準備不足が明らかであった。焼却についての実証データ・運営方法・管理手段が提示されていないかった。

また、ゼロ・ウェイスト先進地としての「焼却」という整合性についても、気がかりの点が多い。町民や猟友会会員のコン

討 論

修正案

反対討論 なし

賛成 高石議員

①昨年1年間で、24名が（有害鳥獣）出している。猟友会で設備を何人が使いたいのか、調べる必要がある。
②1回焼却するのにLPガスを約40kg使用する。これは家庭の風呂60〜80杯沸かす熱量を必要とする。CO2排出から不適切と思う。
③50kgボンベ4個を産業課の職員が何人で持ち上げることができると問題である。
④ガスを積んだ後、焼却機との連結等にはガス調査員、保安業務員の資格が必要ではないのか。
⑤ガスボンベと焼却機は320度以上であれば2m以上離さなければならぬらしいが、図面からは離れていない。違法ではないのか。

運営方法として、協力者が確定するまでは、産業課職員が対応することであるが、幅広い業務に取り組んでいる部署であり、計画段階で委託者を選択すべきである。

次に地球温暖化防止の点である。焼却設備は、化石燃料を使用して焼却するものであり、上勝町が掲げるゼロ・ウェイストの理念にも反するものである。こういった点から、捕獲鳥獣処理設備費の排除を求める。

修正案に対する質疑なし

も検討する必要がある。

賛成 平原議員

有害鳥獣対策には、住民や猟友会の皆様のサポートは必要不可欠だ。しかし、未来の子供にきれいな環境を継承するゼロ・ウェイスト宣言に相反している。環境保全と住民利益の両立には、納得出来るデーターと住民との合意形成が必要。幅広い見地で、根本から再検討をしていただきたい。

賛成 関議員

ガス搭載の安全性が心配である。今回もう一つ勉強が必要だと思う。

※小休中に高石議員の賛成討論の④⑤について次の通り、佐々木産業課長より回答あり

ガス連結等、資格が必要な場合は、有資格者に作業をしてもらう。

2mを確保できない場合は、不燃性隔壁を設置することで、使用可能となる。今回は不燃性隔壁を設置して使用する。

採 決

修正案

賛成 3
反対 4

原案

賛成 4
反対 3
可決

議題第73号 上勝町教育委員会委員の任命について同意を求めることについて

問 日下議員

この案件について反対するわけではないが、人事案件については、審議当日に提出するのでなく、議会の提案時等、前もって人名等に付いて提示できないか。

答 花本町長

過去からの例により審議当日の提案としていたが、今後は他の市町村の議会同様、前もって提示させていただく。

発議第3号 ごみ問題の抜本的解決策「資源回収法（仮称）」の制定を求める意見書について

提案者 酒井直美

令和5年9月議会で請願として提出されたものである。これを意見書として発議する。

主旨は、商品を製造販売する企業は消費者が不要になったものは全て有価で回収し、有価回収しないものは罰則をもって製造販売を禁止する法律である。地方自治法第99条の規定により、衆議院、参議院両議長に意見書を提出する。

質 疑

問 岡本議員

町内で販売されている魚、野菜等も含まれるのか。

答 酒井発議者

資源が循環し、環境と経済の好循環を目指す仕組みづくりである。施行は、品目ごとに、政府、企業、消費者等で協議し、進めていくものである。

議長 田中 寛



上勝町の
未来を考える。

かつて、6千人を超えていた人口は、今や1,200人余りとなり（県推計人口）、時代の変革の中で、上勝町は少子高齢化と人口減少に喘いでいる。

人口減少は多くの自治体にとって共通の課題ではあるが、本町の人口維持の脆弱さと、これに伴う生産人口の不足は地域経済を衰退させ深刻な状況となっている。

焼けつくような残暑もすっかり秋らしくなり、気が付けば今年も後2カ月となりました。

時の流れと季節の移ろい早さを、今更ながら感じている今日この頃です。

秋から晩秋へ、そして冬から新春へと変わりゆく慌ただしいこの季節、どうか皆様お体をご自愛していただきまますようお願い申し上げます。



町の人口は、ここ数年一・ウターン等による転入人口が、転出人口を僅かに上回る社会増ではあるが、死亡数から出生数を引く自

然減の方が圧倒的に高く、このままでは、将来の上勝町の存続自体が危ぶまれる事態となっている。

ゼロ・ウェイストや彩といったブランド等に頼り、人を呼び込むことも一つの方策ではあるが、それだけでは抜本的な人口対策とはなり得ず、その施策はいつ崩壊するかもしれない。

人口対策には、社会保障・社会福祉の充実など、人が根付く・人の住みよい町づくりのための様々な対策が必要であることは言うまでもないが、最も重要なことは、まず町に仕事をつくることであり、経済対策とセットで考える必要がある。

すなわち、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼び込む好循環を構築することが必要である。

しかし、言うは易く、行うは難しであり、この問題を一言で言い表すにはあまりにも難しく、極めて難題といえる。

今、上勝町の主産業であ

る第一次産業は、林業は木材価格の低迷や人手不足により極めて厳しい状況下にあり、CLT（直交集成材）等の新たな事業を手掛けるにしても、そのシェアや需要の問題が立ちはだかる。

だが、この豊富にある木材資源の活用なしに地域経済を論ずることはならず、林業の活性化は経済対策の一つの要となることは言うまでもない。

また、高齢化により労働力が削がれている農業は、一刻も早く後継者を育成し、生産力を回復しなければならぬ状況にある。

特に、上勝ブランドを活用した彩や柑橘の労働力不足は顕著であり、それを補う方策として法人化・集団化・機械化等による効率性の高い農業に切り替えていくことも必要であり、市場の需要に見合った生産力を保持しなければ、その衰退は止められない。

その一方で、企業については、本年3月末時点で町内の中小企業は55事業所あり、その内資本金一千万以

下の零細企業は45事業所となり、毎年少しずつではあるが増加している。

町は、経済・人口戦略として、町内に企業を増やすことに重点を置き、それを経済等活性化の起爆剤として推し進めることも必要である。

そのためには、起業家に対して設立に向けた側面的フォローに加え、初期投資等資金面での支援や貸付に係る利子の補填等々、直接的なフォロー体制を確立し、これを町内で育てる努力こそが、町の財政力の向上と人口対策に繋がるものと考ええる。

町は、国の指導による机上の空論的な基本計画等の作成に汗を流すのではなく、今、目の前にある現実を目を向け、実効性・有効性のある施策を早急に打ち出さなくてはならない時期が既に来ている。

私たちは、我が町が徐々に衰退し、消滅していく未来を、座して待つわけにはいかないのである。

問 救急救命士の動員について

住民
課長

町全体の事業計画を踏まえ 検討する必要がある



前田 敏宏 議員

救急救命士の 動員について

問 高齢化していく社会の中で、上勝町では最寄の病院まで、1時間以上かかる地区の方がほとんどで、多くの助けられる命、助かる命を増やすためにも動員する必要があるのでは。

答 清井住民課長

救急救命士の配置について本町のような非常備消防においては、命を救う有効な手段であることは承知しており、住民課内でも検討している。体制づくりや施設整備等の検討に時間を要している。また、非常備消防の自治体を参考に、事業費を年間6,000万円と仮定、町の財源は過疎債ソフト事業4,200万円、町税1億8,800万円の予算です。現在執行している事業がでなくなったり縮小するこ

とになる。人命に関わる施策だが、町全体の事業計画等を踏まえ検討する必要がある。

要 補助金をいただいで、運営している自治体もあるみたいなので、検討してほしいと思う。また、病院の先生等の負担軽減にもなるので、動員の方でお願いする。

上勝町診療所について

問 発熱外来は年間どのぐらいの利用があるのか。

答 長木診療所事務長

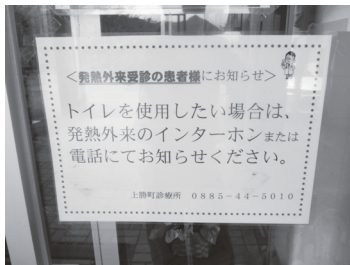
発熱外来は、昨年5月から本年9月までの期間519名の受診があり、感染症室10名の利用。

問 ほとんどの人が発熱をして診療所に行くと、車等で待機をし受診している。また、何人か患者さんがいたら受診を受け

るまで長時間になり、トイレ等が屋外にないので困っている。

答 長木診療所事務長

外来受診待機中にトイレに行きたくなった場合、感染症室のトイレを利用できる。利用に際しては、感染症室の入口にインターホンがあり事務室につながっている。発熱外来待機時のトイレ使用については、周知が十分でない。今後感染症室や診療所玄関に利用について掲示し、周知を図る。



診療所玄関入口



南海トラフ災害 想定住民臨時 情報について



インターホン

問 南海トラフ巨大地震の発生可能性が高まった場合、気象庁が発表する臨時情報について、被害が想定される自治体に住民の7割超が知らない、詳しく知らないと回答。住民に大規模な事前避難を促す場合、理解が進まなければいざというとき混乱が生じるおそれがある。そういった中で、上勝町はどのような対策、情報を出していくのか。

答 久保総務課長

南海トラフ地震臨時情報に対する住民の認知度は低い。このため、町としても、住民へ南海トラフ地震臨時情報に対する周知や理解を促し、事前避難の必要性を図る。9月8日に実施した上勝町防災訓練では、東海地方で巨大地震が発生し西日本側に南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」が発表されたという想定の下で実施。南海トラフ地震臨時情報に対する一定の理解は住民から得られた。

今後の防災対策の参考にするため、県によるアンケートが8月27日～9月16日の間に実施。アンケート結果は、現在集計中、結果については各市町村に共有、結果も踏まえて住民への周知や上勝町の対応についても検討していく。



日下一茂 議員

問 いっきゅう茶屋の二階の営業は

産業課長

開店に向けて取りくんでいる

いっきゅう茶屋
二階について

問 いっきゅう茶屋の二階の飲食店が開店して久しいが、新たに営業することは考えていないのか。

答 佐々木産業課長

閉店以降に水の濁りが発生し、水源、貯水槽の清掃、機器の更新等様々な対策を実施し、最後に塩素濃度が安定しており、使用できるところまでに至っていないが、先日報決し、保健所の水質検査を行う予定だ。開店に向けて指定管理者であるいっきゅう茶屋管理運営協議会が継続して検討している。

問 オープン時の周知はどのようにするのか。

答 佐々木産業課長

オープン時には広報折り込みや徳島新聞への記事掲載等をお願いし、広く周知したい。

町道について

問 「町道旧傍生実線が非常に傷んでいる」と住民の声があるので直して欲しい。

答 笹尾建設課長

現地を確認したところ、傷んでいる箇所が複数箇所あり、大きくはみが見受けられ、通行に支障を来たところは修理工により対処した。残りの箇所は状況を見ながら対応する。



町道旧傍生実線



いっきゅう茶屋

応ずる。

小中学校体育館
について

問 県下の学校体育館の空調設備があるのは何校か。

答 松岡教育委員会
事務局長兼支所長

県内の市町村立小・中学校236校中、学校体育館があるのは224校で9月現在うちエアコン設置が9校、スポットクーラーと呼ばれる移動式やスポットバズーカ固定式を整備しているのが9校、計15校で設置率は約6・7%だ。

問 上勝町内の体育館にも空調設備はできないのか。

答 松岡教育委員会
事務局長兼支所長

体育館は断熱性能が確保されておらず、冷暖房効率が悪い。断熱性能があることが交付金の要件

であり、空調設備工事と断熱性能確保の工事を併せて実施すると多額の工事費が必要となるので今の段階では設置は難しいと考える。他市町村の調査も行いたい。



上勝小学校体育館内



上勝中学校体育館

空き家対策について

問 住むことができなく

なった廃墟の取壊しの為に持ち主に補助金を出せないのか。

答 吉積参事兼
企画環境課長

個人資産である単なる家屋等の取壊しの補助制度はない。占有者又は所有者は、一般的に建物を管理、保存すべき責任を負っており、建物等が倒壊して、隣の家等に被害が発生した場合、その損害賠償責任は所有者が負うことになる。ただし、地震時等に倒壊で道路を閉塞し、避難、救助活動に支障を来すおそれのある老朽化した危険空き家等除去支援事業の補助制度はある。

問 空き家の所有者に町から連絡はできないのか。

答 吉積参事兼
企画環境課長

第三者に被害を直接及ぼす危険な場合は、役場からの連絡は可能。

問

月ヶ谷温泉への生ごみ処理機の導入はいつか

企画環境課長

11月末の見込み



酒井直美 議員

シルバー人材センターについて

問 シルバー人材センターに登録されている人数と活動内容は。

答 清井住民課長

現在10名。正木ダム宿直代行・トイレ掃除、環境。パトロール、草刈り(個人宅)、蜂の巣退治等々の活動をしている。

遊休農地について

問 中山間事業等で管理されていない荒廃地の割合は。

答 佐々木産業課長

令和5年度、農業委員会調査で遊休農地として約5ha、田畑総面積の3%程度である。

問 遊休農地の開墾等再利用率に向けての対策は考えているか。

答 佐々木産業課長

農地の利用集積や新規就農者の支援等、担い手の育成に取り組んでいる。農地の開墾よりも保全を進めている。自走式草刈り機(ハンマーナイフモア)を貸出し、農業者の負担軽減により生産活動につながればと思っている。

月ヶ谷温泉について

問 予算は通過している月ヶ谷温泉に設置予定の生ごみ処理機は、どうなっているのか。

答 吉積参事兼

企画環境課長

6月に入札を行い、(株)大野が407万円で落札。受注生産であるため、納期は11月末の見込み。

問 当施設は、避難所としての期待が大きいですが、非常電源がない。夜間の有事の際、宿泊客等身動きが取れない状況が予測される。ポータブル発電機等、導入計画はあるか。

答 佐々木産業課長

自家発電設備の必要性は承知している。国や県の有利な補助金がなければ困難。各客室に懐中電灯を設置している。

要 全て交付金ありき、補助金ありきという話から始まっているが、ポータブル発電機等があれば、より安全に避難経路が確保される。早急に導入を要望する。

固定資産税の変更について

問 進捗状況は。

答 高橋税務課長

国土調査後課税の移行

問 税務課は、かなり苦勞されているようだが、町長の考えは。

答 花本町長

一斉課税発言は、前々町長が発言したことで、私が撤回するわけにいかない。私になって2回お願いしているが、理解されなかった。当初5年間ぐらいの差が出ると思っていたが、できるだけ短縮できないか、検討している。

移動式の焼却設備について

問 6月議会で削除され、

今回再提出された議案だが、この間の行動経緯の報告を。

答 佐々木産業課長

管理方法、費用負担など具体化し、9月5日に猟友会役員に説明や意見交換をした。

問 役員さんのご意見、反応は。役員以外の会員の皆さんの反応は。

答 佐々木産業課長

猟友会に負担がかかり過ぎないようにとの意見があった。導入には、前向きに進めてほしいとの事。全会員の意見収集はしていない。

問 役員での負担とは何をさしているのか。

答 佐々木産業課長

焼却処分に対しては問題ないが、全部を猟友会が負担する事はやめて欲しい。との事。



平原美和 議員

鳥獣ガス焼却一択の提案はSDGsに反するのでは

町長 抵抗しているものとは考えていない

町営住宅における生ごみの処理について

問 各町営住宅の生ごみの処理設備や管理はどのようなになっているのか。

答 笹尾建設課長
17住宅のうち、設置型コンポストが6住宅、他11住宅は入居者各自で管理している。

問 生ごみだけの投入ではコンポストは発酵ではなく腐敗し分解が遅い。コンポストの管理には知識や技術、発酵促進剤や落ち葉や草、土といった生ごみが表面にでない資材等が必要なのではないか。

答 笹尾建設課長
個人で管理されている入居者もいるため、コンポスト設置の住宅のみ補助は難しい。

要望 上勝町での暮らしに欠かせないコンポストの維持管理をサポートする仕組みを検討願う。

上勝小・中学校の魅力ある教育活動について

問 全国で30万人といわれる不登校児童・生徒のうち、学校内外で相談等受けていないのは11万人以上存在するが、上勝での取組や対策、支援は。

答 立川教育長
児童、生徒数に対し教員配置は多く、手厚い支援ができる。分かる授業の実現と仲間づくり、定期的な面談や、体験的な活動を充実した学習計画の設定。また学習支援や個別指導時間をつくり、加配教諭の配置も計画。保護者からの相談や支援や各種連絡を通じ連携している。

問 教職員の働き方改革として労働時間は守られているのか。

答 立川教育長
マチコミメールの活用や中学での外部人材活用等により文部科学省の勤務上限を原則満たしている。

問 子どもたちと向き合う教職員の負担軽減にもつながり、子ども自身の幸福度世界一のオランダで広まるイエナプラン教育は国内での導入もスタートしている。本町でも検討を。

答 立川教育長
学習指導要領により、個別最適な学びと共働的な学びの一体的な充実により、主体的、対話的で深い学びを充実するよう授業や学習計画を行っている。すでにイエナプランの要素を取り入れ、異学年活動や対話がなされている。

問 異年齢での活動は頻繁にあるが、学習方法においては自主性や個人が尊重される学びの手法が上勝の魅力ある教育につながるのではないか。

答 立川教育長
教育での大きな課題となり、受験を控えた生徒にはデメリットになる。

AEDの設置状況について

問 医療の専門知識がな

くても適切な処置を行うことのできるAEDの設置場所や数、また使用事例件数は。

答 久保総務課長

町内22台
・各消防分団詰所6台
・役場玄関と救急車
・保育園、小・中学校
・傍示定住センター
・温泉、キャンプ場
・上勝町診療所、健祥会
・エンジンバラ・ピーター
・JA支所、加工所
・千年の森 慈眼寺(2台)
救急車での使用も含め8件の使用(令和元年、令和6年)

問 設置状況の周知は。

答 久保総務課長
設置の際周知した施設もあるが、町内全ての設置場所の周知はできていない。

問 中学生の使用を推奨する機器でもあるAEDの講習状況は。

答 久保総務課長
令和5年職員35名の参加で講習。消防団対象では令和元年総合防災訓練のメニューにおいて実施

し150名参加。年一回学校関係者やPTA等対象としてAED講習実施。

問 24時間使用可能なAEDは。

答 久保総務課長

役場本庁と小・中学校、温泉(定休日除く)健祥会エンジンバラ、ピーターの6施設。ガラス戸の中に設置の場合は、ガラスを割って取り出してもよい。人命救助の際には協力を。

気候危機におけるエネルギーの自給と循環について

問 小水力発電の実施がなされないのは。

答 吉積参事兼

企画環境課長
実証実験等もしたが、管理者不足、採算ベースにのらないことなどから廃止している。清井製材跡地の小水力発電事業は国の補助金の見通しによる。

問

焼却時間やLP ガスの使用量を 確認してから購入の検討をすべき



高石 雅弘 議員

産業課

設備の能力値を参考に 確約させたい購入する

問 先の質問者への返答で「処理設備の新規導入や、1頭処理することにより狩猟者が3,000円負担すること、処理施設の使用意向の確認等を猟友会の役員には説明したが、会員にはしていない。」とのことだったが、

順位	頭数
7	28
8	24
9	23
10	15
11	14
12	13
13	12

順位	頭数
1	106
2	54
3	53
4	51
5	40
6	30

答 佐々木産業課長
以下の通りである。なお、10頭未満は11名である。

問 昨年度の鹿、猪、猿の個人別捕獲数を上位から教えてほしい。

答 佐々木産業課長
高鉾17名、福原30名である。

問 高鉾、福原それぞれの猟友会の会員数は。

猟友会及び捕獲鳥獣
処理設備について

それよろしいか。

答 佐々木産業課長
それで構わない。

問 機械の稼働に係る費用が、1頭当たり3,717円と試算されている。(他に車両に係る費用が1,053円足され、1頭当たりの処理費用が4,770円と試算されている。)LPガスの計算基礎は。

答 佐々木産業課長
1kg当たり140円で計算している。最安値と思われる業者を選定し、算出した。

問 処理設備は最大80kgの鳥獣が焼却できるが、毎回だいたい50kgを焼却していくと聞いた。3,717円は、何kgの焼却を想定しているのか。

答 佐々木産業課長
50kgの焼却で計算している。

問 50kgの鳥獣を焼却するのに、2時間くらいかけて、約40kgのLPガスを使うというのか。40kgのLPガスがあれば、一般家庭のお風呂が60〜80回沸かせられる。この処理設備の製造業者が製造あるいは納品し

た製品、同型あるいは類似品等があれば、焼却の実演をするべきである。焼却時間やLPガスの使用量(特に冷凍保存していた場合)を確認してから、購入を検討すべきだと考えるが、どう思うか。

答 佐々木産業課長
同型あるいは類似品はない。(実演はできない。)設備の能力値を業者に確認させた上で、できる限り短時間で処理できるよう運用する。

問 同一日に複数頭捕獲があった場合、土日祝日、役場の長期閉庁(GW、年末年始等)は新規に設置するストッカーにて保管する」と説明があった。ストッカーの詳細は。

答 佐々木産業課長
冷蔵と冷凍を切り替えられるタイプである。定格内容量が628ℓを2台購入予定で、金額は合計82万5,000円である。

要 猟友会の役員だけでなく、全ての会員に十分な説明を行い、処理設備の使用の意向調査をす

べきである。使用する人が少なければ、無駄な設備となる。膨大なガスエネルギーを使うことになる。豊かな自然とともに暮らしている上勝町が、地球温暖化に加担してはならないと強く思う。

ごみステーションの
管理運営について

問 町から(株)ビッグアイカンパニーに管理運営が変更された。その経緯は。

答 吉積参事兼
企画環境課長

ゼロ・ウェイストセンターの建築、運営の構想当初より、民間委託による管理運営を予定していた。条件が整ったので、今年度より随意契約による業務委託契約という形を取った。

問 費用的な面も含め、契約の内容は。

答 吉積参事兼
企画環境課長

委託料の内訳は、ほぼ人件費(常勤職員、補助員、職員)である。それと消耗品と事務経費及び消費税である。一昨年より60万円くらい金額は上がっている。

(一社)かみかつ森林環境公社による森林所有者の意向調査について

問 以前の意向調査の費用はいくらか。

答 佐々木産業課長
令和元年度実施の意向調査業務の精算額は440万8,800円であった。

問 前回と今回、意向調査の対象となった世帯数はいくらか。

答 佐々木産業課長
令和元年度1,347件、今年度763件である。

問 今年度の意向調査の予算は423万5,000円である。前回の資料をそのまま送り、件数も6割弱に減っているのに、予算額が高額だと思いが、どうか。

答 佐々木産業課長

林地の一覧表は前回と同じデータを活用しているが、労務単価の値上がり、積算基準の改定、及び未返送者への対応や集計データの図化等の新たな業務も追加されたので、業務委託料が高過ぎるという認識はない。



岡本 明 議員

問 避難所における不具合の対応は

町長 既に業者に 見積依頼をしている

問 訓練後の反省点、課題が各分団長から出てきたと思うが、どのような内容であったか。

答 久保総務課長

消防団からは、無線の通信環境が悪かった、赤十字奉仕団からは飲料水と非常食の充実、また、乳幼児や外国人についても対策を考えておくべき、などの意見をいただいた。町職員については、9月20日を締め切りに、意見の取りまとめをしているところである。

問 避難所の防災倉庫の中の備蓄が少ないように思うが、避難者は何名と想定しているのか。

答 久保総務課長

南海トラフ地震発災時の避難者想定が出ており、上勝町全体で約

防災訓練について

240名から300名と想定されている。1避難所につき約40名は避難されると想定している。

問 最低限、想定される人数分の備蓄は置いておくべきでは。

答 花本町長

随時増やして行く事も出来るし、当然更新もしていきたいと考えている。

問 旭基幹集落センターでは、物資を運び込む時に、ドアの位置が悪いなど、数ヶ所の不具合を直接見ていただいたが、担当者に説明をしていただいたのか。対応は。

答 花本町長

休み明けに担当者に説明をし、既に業者に見積を依頼している。

要望 勝浦町も防災訓練をしていたが、住民を巻き込んだの大きな避難訓練を行っていた。

一つの勉強だと思うので、視察に行ってみては。



防災訓練の様子

旭の風倒木について

問 旭中田様宅前において、バリケードを張り、山側の通行が出来なくなっているが、いつまでこの状態にしておくのか。対応は検討していないのか。

答 笹尾建設課長

県に確認したところ台風10号が接近する中、県道に枝が落下する恐れがあるため、8月27日に注意看板とバリケードを設置している。確認の結

果、直ちに落下する可能性が低いことから撤去し、引き続き看板による注意喚起と定期的な点検を実施。県から所有者に伐採していただけるよう依頼する。

問 これから台風の時季になるのに、バリケードを撤去するのか。この場所、台風が来るたびに枯れ枝がたくさん落ちるような危険な所なので、県で対応するよう、役場からもっと強く要望していただきたい。

答 花本町長

道路管理者は、裂けている枝はあるが、すぐに落下する状況ではない事は確認している。地主は、町外の方で、国土調査の時に、県からの伐採の依頼をする予定である。

要望 他の地区では、お金をかけて、落石防止の為の大きなフェンスを設置している。旭の場合

は、地主に伐採を依頼する話になっているが、同じ事例なので。再度、県に強く要望していただきたい。



旭 中田様宅前

(※その他)

- ・集落再生プラン補助事業の年齢制限について
 - ・住民のゴミ分別の負担軽減について
 - ・避難所の鍵について
 - ・災害時の仮設トイレ用の空き地整備について
 - ・確実に増えている空き家対策について
 - ・合併処理浄化槽整備事業の補助金増額について
- 等の質問をした。



町内産業視察

令和6年7月21日、議員相互認識の統一を図り、今後の活動に活かすことを目的に、ポイントを絞り現場を巡回訪問しました。

行程は次の通り。

ゼロ・ウェイストセンター→野尻住宅新築工事現場→森林環境公社車庫→林道八重地・市宇線を視察しました。



ゼロ・ウェイストセンター（福原地区）



野尻住宅新築工事現場（生実地区）



ゼロ・ウェイストセンター（福原地区）



森林環境公社車庫（旭地区）



野尻住宅新築工事現場（生実地区）



林道 八重地市宇線（旭地区）



林道 八重地市宇線（旭地区）

移動式鳥獣焼却設備の概要

①車両

車 種：4WD セミロングボディ 最大積載量2トン

免許区分：準中型免許

金 額：6,894,840円（税込）

②焼却設備

1回最大投入量：80kg

処理能力：25kg/h（燃焼温度800℃の場合）

燃 料：LP ガス

金 額：焼却設備 30,175,780円（税込）

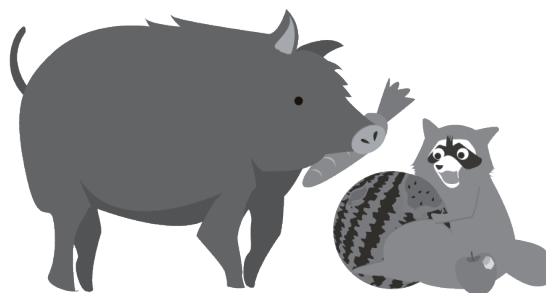
LP ガス設備 1,906,432円（税込）

計 32,082,212円

費用合計：38,977,052円

財 源：農林水産省 鳥獣被害防止総合対策交付金 3,726,000円

交付金を差し引いた残額の8割 特別交付税措置



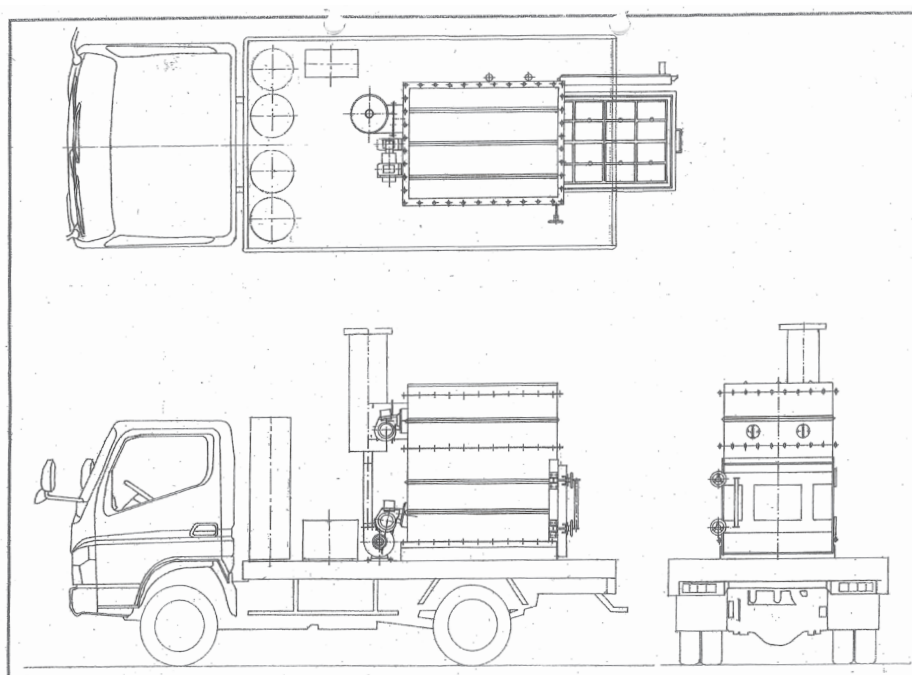
③処理計画

年間処理頭数：約350頭

【算出根拠】H30～R5平均捕獲頭数（シカ575頭＋イノシシ55頭）630頭

内 自家消費平均 130頭 差し引き計500頭

人力埋設割合 全体の70%=500頭×0.7=350頭



移動式鳥獣焼却設備 見取り図

まちのようす



淵神の塔の解体工事（藤川）



保育園の子ども神輿（藤川）



町民運動会（福原）



町民運動会（福原）



町民運動会（福原）



町民運動会（福原）



稲刈り（生実）



上勝町敬老式典（福原）

編集後記

議会だよりを発行するに当たり先輩議員に教えていただきながら、議会広報の編集に携わらせていただいた事で、公平で正確さが大切であり、短く、わかりやすく、委員が集まって相談しながら編集する事で、より充実した広報が出来上がる事を学びました。

読者の皆様、行政関係者並びに議会関係の皆様、親切なご指導をいただき、ありがとうございます。

（関）

